

**2021年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要（WEB公開用）**

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [芳賀 一真]

学年・組・番号 [1年 3組 21番]

研究課題： 早稲田大学高等学院の模型作成（学院全景（建物含む））

（英文） Creation of Diorama of Waseda University Junior High School

研究概要：

（研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について200～400字で記入してください）

我々は早大学院の魅力を発信する手段の一つとして、早稲田大学高等学院の模型を作れば来訪者にわかりやすいと考え本研究に取り組むことを決めた。本模型の完成後は学院内に展示することを想定して研究を進めていった。

研究の実施は3つの段階に分けて行った。初めに、5月から6月にかけては情報収集を中心に行った。具体的には、学院全体の地図を入手するとともに、航空写真を使用した全体像の把握、自分たちで撮った写真を参考にして学院の個々の建物について理解を深めた。その後、6月中旬から夏季休暇前までにかけて設計図の作成し、材料の調達。夏季休暇中から10月中にかけては、土台の作成、および各パーツの作成及び合体を行い、最終的に11月に学習発表会での発表することが出来た。

研究成果：

（研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について200～400字で記入してください）

完成した模型は11月の学習発表会で展示し、生徒及び保護者の皆さんに御覧いただくことが出来た。今年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学習発表会が一般公開されず、今後学院を志望する受験生等には見てもらえなかったが、学院の生徒とその保護者に見てもらえることが出来、一定程度目的は達成できた。また、実際に模型を見もらった方々からは、正確にできてよかった、細かい作業が出来ている、等のコメントをいただき、うれしかった。また、同時に、学院の恵まれた環境を自分自身も再度確認することができてよかった。今後、より多くの来校者の皆さんに見てもらえるよう、学院内に設置できないか検討し、早稲田大学高等学院の魅力を発信に貢献していきたいと考えている。

研究者：（以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する）

研究代表者 芳賀一真

研究分担者 岩本大樹 白木健悟 野村逞真 平林礼斗

吉田凌 高井翠月 山下柁一

担当教諭 小川慎二郎（受給額：20000円）

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEBページ上で公開されることに同意します
（次のページに続きます）

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)

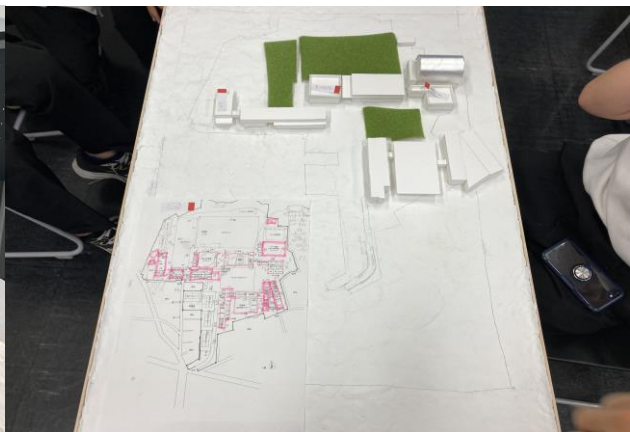


(完成品)

(実際の展示)



(土台作り)



(設計図を見ながらの作業)

以上